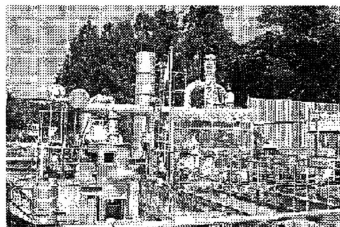


石綿の溶融処理 実証実験を終了

日本環境保全

ごみ処理炉などを開発
している日本環境保全



(茨城県牛久市、和田力社長)は二十二日、アスベスト(石綿)を高温で溶かして無害化する小型炉Ⅱ写真Ⅱの実証実験を終えた。四月から三種類

ごろには実験の結果をまとめて、本格的な販売活動に入る。

二十二日は茶石綿約三百六十キログラムを処理した。これまでに毒性の高い青石綿や吹き付け用に使われた白石綿の処理実験を

引用)2006年6月23日
日本経済新聞
地方経済面(p.41)

ご注意

過去に当社が原情報を著作した新聞・雑誌等の記事は、画面上の閲覧のみが可能です。これら記事は過去に公開されたものですが、現状で利用する際には著作権等が発生する場合があります。利用をご検討の方は当社にご相談願います。

日本環境保全株式会社